

令和4年度 第2回学校運営協議会 記録

記録 上泉・田中

1. 日時・場所

令和4年 10月19日(水) 18:00～ 応接室

2. 出席者

学校運営協議会委員(6名中5名出席)

会長 岩野 豊治

副会長 大堀 彰子

委員 石黒 久美

委員 栢谷 礼路

委員 福岡 千晶

学校関係者(8名)

准校長 辻 徹

教頭 坂口 伸二

首席 中村 有希

教諭 日高 良友

教諭 赤坂 久雄

教諭 石田 淳子

教諭 上泉 暁哉

教諭 田中 孝典

3. 議事内容

(1) 准校長挨拶

(2) 協議会委員および事務局委員紹介並びに会長挨拶

(3) 第1回学校運営協議会以降の本校の動向

[准校長より]

・学校経営計画の実施状況について

[教頭より]

・前期授業アンケート結果および令和5年度教科書採択

[首席より]

・中学校訪問について

・学校説明会について

- ・校外学習について
- ・修学旅行について
- ・令和4年度前期卒業式について
- ・大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会について
- ・ふるさと堀探検隊について

[教務主任より]

- ・前期卒業生について
- ・前期特別指導報告

[生徒指導主事より]

- ・令和4年度懲戒指導のまとめ
- ・令和4年度部活動実績
- ・令和4年度定期健康診断受検率および保健室来室者数

[進路指導主事より]

- ・令和4年度進路希望状況（10月19日付）

4. 協議

(1) ご質問・ご意見・ご提言

委員A：授業を見学させていただいて、今までの学校教育の中で「できない」と思い込んでいる子どもが本校の授業で生徒が発言しても良い雰囲気を作られている。全日制や通信制ではできないような取り組みをされていると思う。中学校の先生方に本校を知ってもらいたいことや伝えられたらいいなと思うことを教えていただきたい。

事務局：生活実態アンケートから、兄弟や知っている人が通っていて、紹介されることで安心感が出て、登校できるようになったことがある。これまで学校に来ていなかった生徒さんも現在は来れている生徒さんがたくさんいることを伝えたい。学校説明会のような機会があれば見に来ていただきたい。もし時間が合わないのであれば、随時、学校見学を行っているので、来ていただきたいと思っている。

委員B：定時制高校は学び直しが必要と感じている子どもの窓口であったり、社会に行くかかった人にとっては社会に出る窓口になっているのではないかと。

委員C：本校はきめ細やかな指導ができています。私学の通信制に行くような生徒がいる中で、私立高校で不登校となった場合、通信制高校に転学するというケースが多い。通信制より本学のほうが適している生徒もいるのではないかと。私立高校にも本学を知ってもらうために、本校の広報用ビデオの作成を検討するのはどうか

委員D：自分が生徒の時と比べて、1年生が意欲的に発言している。イエローカードが減少していると感じている。スマホの使用についてもかなり減ったと感じた。

事務局：スマホの指導については3年前から授業の前に電源を切るように4月から指導した。その指導により、生徒が素直に指導に従うようになった。集会での姿勢を見ると集中力が上がっているように感じている。コロナ禍で集会を行うことが少なかったが、最近は集会形式で行うことが多くなり、それが良い方向につながっているのではないと思う。

委員E：保護者として、先生方に生徒のサポート等を良くしていただきありがとうございます。子どもが受験に対して不安なときにこちらの学校説明会に参加させていただいて、校長先生のお話を聞いて気持ちが楽になった。入学してからも手厚いサポートがあり、ここに入学させて良かったと思う。しかし、学校説明会に来るまではどういう学校かわからず、保護者として学校を知るのが大変だったと思った。今となっては子どもたちはSNSなどから情報を得ているため、今の時代に合った宣伝をすることが必要ではないか。

事務局：できるのであれば学校説明会で使用している学校紹介ビデオをHPにあげることができればよいと思うので持ち帰って検討したい。

委員B：ここの学校で何ができるか。特色ある高校にするために、SNS等で様々な活動を紹介できるのではないか。

委員A：就職で、一人一社から、一人複数応募になったことについて本校ではどうなっているか。また奨学金についてはどうなっているか。

事務局：大阪府では一人2社まで応募できるが、本校では生徒は会社に合うように履歴書や面接の回答を考えるため、生徒にとっては同時同時並行で就職活動をするのは大変なのでいなかった。奨学金については定通奨励費を複数の生徒が活用している。またJASSOについては本校で4回ほど案内をした。

委員A：使える奨学金は増えたのか。

事務局：あまり増えたわけではない。

(2) スクールミッション (案) について

運営協議会委員や事務局で検討する中で、「正しく生きようとする人材の育成」という部分について入学した時点で正しく生きようとしているのではないかと感じるということで「自己実現」という言葉に置き換えるのはどうかという案が出た。

☆第2回 運営協議会は 令和5年1月18日(水)～2月1日(水)で調整